

原水爆禁止2014年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止2014年世界大会が開催されるにあたり、長崎県民を代表いたしまして、メッセージをお送りいたします。

皆様には、日頃から、核兵器廃絶と世界恒久平和実現のためにご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

長崎県では、「長崎の惨禍を二度と繰り返すな、長崎を最後の被爆地に」との願いのもと、原爆の悲惨さと非人道性を世界の人々に伝え、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてまいりました。

しかしながら、未だに核兵器の開発や核実験を実施する国々があるのも事実であります。

そうした中、ここ長崎において、核兵器の廃絶を世界に発信する原水爆禁止2014年世界大会が開催されますことは、大変意義深く、こうした取組が一日も早く実を結び、核兵器ゼロの世界が訪れますことを切に願っております。

本県といたしましても、平成2年に行った「自由と平和の尊厳に関する長崎県宣言」に基づき、また、来年のNPT再検討会議開催や被爆70周年という節目に向けて、一日も早い核兵器廃絶と世界恒久平和実現のため、平和事業の推進に努めてまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「原水爆禁止2014年世界大会」の成功とお集まりの皆

様方の今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

平成26年8月9日

長崎県知事 中村 法道